

岐阜の味売り出せ

東京で野菜販売

JA岐阜信連と
県農業法人協会

「地産都消」目指す



県産の農産物を買求める来場者ら＝東京都渋谷区、JA東京アグリパーク

県産農畜産物をPRする「美味ぎふーどフェア」が26日、東京都渋谷区のJA東京アグリパークで始まった。大粒のイチゴや雪の中で育てたニンジンなどが販売され、来場者でにぎわっている。3月2日まで。

岐阜の農畜産物の魅力を首都圏で発信し、販路拡大につなげようとする。JA岐阜信連と県農業法人協会が初めて企画。同協会に加盟する11社が参加し、2日間ずつ入れ替わりでブースを出展する。

会場では他にトマトジュース、ブルーベリーを使ったドーナツ、コメなどが並ぶほか、トマトジュースで作ったカレーを味わうこともできる。担当者は「チームは「地産都消」。首都圏の人たちに、岐阜の農畜産物のおいしさを知ってもらいたい」と話した。28日は休止。1日からはシタケやミニバラ、飛騨牛わさび丼などが販売される予定。(根尾文悟)